

古賀市環境審議会からの指摘事項(第3次環境基本計画)

当日資料1

No	ページ数	指摘事項	回答
1	-	4章のどこかに環境配慮指針の策定と適切な運用に関する文言を入れることは検討できませんか。良い場所がなければ、全く別の扱いになっても良いですが、第1次にも第2次にも章立てられていた配慮指針を全く外していますから、何らかの言及があるべきですし、数年後には実際に作るわけですから、施策を一つ実現したことにもなります。	P.36とP.38に文言を追記しています。
2	2	P.2(1)の上から5行 「市民や事業者、市が共働して…」:共働という単語も、やはりかも知れないが、'ともばたらき'に見えます。「連携して…」あたりではまずいでしょうか。	第5次古賀市総合計画の基本構想と記載を合わせ、全体的に「共働」という表現を「連携」や「協力」へ変更しています。
3	2	「ネイチャーポジティブ」 ネイチャーポジティブ は、P.2 が初出ですが括弧補足なし、P12の2度目に、ネイチャーポジティブ(自然再興)と括弧補足があります。	P12の括弧補足を外し、P2の初出の記載へ括弧補足を移行しています。
4	18	耕作放棄農地 「耕作放棄農地」:用語を確認して下さい。荒廃農地、耕作放棄地がよく見えますが…。	記載を「耕作放棄地」へ修正しています。
5	19	図2-15~17 → 図2-13~15(図番号がずれています)	修正済みです。
6	19	(5)の図2-14 4℃と2℃ それぞれに同じ※があり、下注では4℃のみに※があります。(しかも、図では4℃の※方は白抜きで2℃の※より目立たない)※と※※にするのも大げさでしょうから、「将来予測(21世紀末)」に※をつけるか…。(図中にも小さいながら※があります)	4℃と2℃のシナリオそれぞれに※1、※2として注釈をつけるように修正しています。
7	20	(6)の上から6行目 「定める」の用法を確認して下さい。指定案件、認定案件ではないので、相応しくないようにも思えます。かといって、どんな表現が良いのか…。(例えば、下から2行の「選定」は正しい)	「～のP.6、7に記載している～」に修正しています。
8	21	表2-1 この表の地域名等は、それぞれ、このような表現でも良いのでしょうか、5千鳥ヶ池の「実は、…」は必要なのでしょうか。前後関係次第では、そういう文章もあるでしょうが…。	5千鳥ヶ池の標記について、「いますが、実は、」を削除して「おり」、に変更しています。
9	21	表2-1 P.21の表の黄色の★とP.22下部の2)の記事とで、表記が対応していないところがあるようです。また、千鳥ヶ池公園、鹿部山公園、薬王寺水辺公園など、公園をつけるものとつけないものも、整理すべきかこのままで良いのか検討して下さい。どちらも「特に残して欲しい…」という同じ括りですから。	市民アンケートの設問において、回答を自由記載としており、表2-1の地域名等と対応していませんでした。P21の表2-1から星マークと注記を削除しています。
10	25	図2-20中の丸の色分けは何か意味があるのでしょうか？	第2次古賀市環境基本計画における環境分野別に色分けしています。図に凡例として色の説明を追加しています。
11	32	表3-2 表題は表の上につけるのが正式です。その前に、コラムの中のこのようなスケジュール表に通しの表番号がなじむのかも検討してください。	表3-2の表題を削除しています。
12	33	図3-2 この箇条書きを図というのも少し苦しい様なのですが…。	図3-2の表題を削除し、箇条書きのタイトルとして「ワークショップに参加した高校生の感想:」と追加しています。

No	ページ数	指摘事項	回答
13	34	コラム内の風船のなかの文字はもう少し大きくなりませんか。	修正しています。
14	37	1行目 「多様な主体」は、市の立場からの発言ですから、例えば、「市民や団体、事業者などと連携しながら」など、「主体」を用いずに具体的に書けないでしょうか。 P38の第2・にもありました。このように例をあげて「..など多様な主体」なら、それでも良いかも知れません。いずれにせよ、P.37 が初出のようですから、分かり易くするための何らかの配慮を考えて下さい。	ご意見を参考とし、P37について「市民・事業者と連携しながら」へ文言を変更しています。
15	38	2番目の・ 「気温の上昇や気候変動など」は正しい言い方なのですね。気温上昇は気候変動の一部というご説明もあったように思いますが..	「気温の上昇や気候変動など、地球温暖化は」という表現を「地球温暖化に起因する気候変動は、」と修正しています。
16	39	グリーンインフラの注釈はなくてもよいのではないかと。 用語解説が巻末にあるし、他の用語については注釈がつけられていないため。	「グリーンインフラ」という文言について、計画内に一つしか用語が出てきていないため、P39の注釈は残し、用語集から削除しています。 その他、計画内で注釈がついている文言についても、同様の取り扱いとします。
17	46 47	p46の目標値が「現状維持」「減少」で示されているのに対して、p47では目標値の具体的な件数が備考欄が空欄のまま示されているので、表記の違いが少し気になります。(全部は難しいかもしれないが、目標値が具体的な数値の場合はできるだけ備考欄に何か説明があった方がよいのではないかと)	P47の指標について、目標値を「減少」へ変更しています。
18	55 58	「家庭系ごみ」や「生活系ごみ」について 本文とグラフ中の「家庭系ごみ」は多分P.58で定義される家庭ごみとは違うのだと思いますが、もし、このページの家庭系ごみが今後用いる生活系ごみと同じなら、本文の家庭系ごみは生活系ごみに直してしまっ、グラフには注記をすることでも良いように思います。 P.58の図を用いた説明は不要もしくはごく簡単にできるのではないかと考えます。すなわち、P.58での記載をやめて、P.55に、かつての「家庭系ごみ」は令和6年度以降(この第3次環境基本計画及び第3次ごみ処理基本計画から)に用いる「生活系ごみ」と同じ概念であること、また、必要なら、生活系ごみの中で資源化されずに焼却処分されるごみを家庭系ごみと呼ぶ考え方があって、福岡県の統計資料で用いられていること、などを注記するという案です。 ともかく、P58がこのままでは、P. 55の家庭系ごみがP.58の定義に基づく家庭系ごみと考えてしまっ、混乱するのではないかと心配します。	P58の図4-7については削除しています。ごみ処理基本計画の記載とあわせ、P55の「家庭系ごみ(1人1日当たり)のごみ処理量」の記述に注釈をつけ、P58の指標「1人1日あたりの生活系ごみ排出量」に注釈をつけています。 ※次項「当日訂正資料(第3次環境基本計画)」を参照。
19	55	4Rの読み方(リユースなど)はありますが、それぞれのRがどのような意味か、ここではわかりません。3Rはわかる人もいつかかもしれませんが、古賀市は独自にRを追加している、それぞれの意味をここで示した方がよいと思います。 右上の写真スペースに用語解説の内容を図として載せると、4Rがそれぞれどういった意味なのか、わかりやすいかと思います。	「3R」および「4R」の記載について、注釈をつけています。
20	69 71	表4-29と表4-30のタイトルが同じになっている。 少なくとも下記のように修正する必要がある。 表4-29 テーマ1を推進するための・・・ 表4-30 テーマ2を推進するための・・・	ご指摘の通り、表4-29「共通テーマ1を～」、表4-30「共通テーマ2を～」に表題を修正しています。
21	75	(3)古賀市環境市民会議 「市民・事業者などの情報交換の場」という表現について、「市民・団体などの～」としたらどうでしょうか。	ご意見を参考とし、(3)内の文言について、修正を行っています。

22	80	11行目「附則」の上の空行は削除して、第5章の「第」と桁を合わせる。 この「附則」は目次の最終行です。このままでは前文の小見出しのように見えます。	表記を修正しています。
----	----	--	-------------

表 4-20 指標と数値目標

指標	現状値	目標値	備考（設定の考え方）
1人1日当たりの生活系ごみ排出量 [※]	549.7g (2022年度実績)	522.5g	2022年度実績より5%削減にて目標値を設定
リサイクル率	16.6% (2022年度実績)	20%	

※ 第2次古賀市環境基本計画では、市民の日常生活から出るごみを「家庭系ごみ」と表記していましたが、国の表記に合わせ、本計画では「生活系ごみ」に変更しています。

【指標算定方法】

- ・「1人1日当たりの生活系ごみの排出量」

$$= \text{生活系ごみ（生活系収集ごみ + 自己搬入ごみ（剪定枝） + 集団回収）の排出量} \div \text{年間日数（365日）} \div \text{人口}$$
- ・「リサイクル率」 = $\text{リサイクル総量} \div \text{ごみ総排出量} \times 100$